



第 2820 地区

HITACHI SOUTH ROTARY CLUB

【例 会 場】 要害クラブ TEL (0294) 36-2020
 【例 会 日】 毎週火曜日 12:00~13:00
 【事 務 所】 日立市桜川町 2-25-3 桜川第 2 ビル 201 号室
 TEL (0294) 36-5074 FAX (0294) 37-2176
 Mail: info@hitachi-south-rc.org



Weekly Bulletin
 週報 No.31

■会 長 高 島 章 行 ■副 会 長 小 澤 興
 ■幹 事 小 澤 興 ■会 報 委 員 遠 藤 陽 夫

本日の例会：平成 25 年 2 月 26 日（火） 【プログラム】卓話 / 社会奉仕委員会

次回例会：平成 25 年 3 月 5 日（火） 【プログラム】卓話 / 選考・分類

例会報告

2月26日（火）12:00 開会

小澤 興 幹事



会長の時間

高島 章行 会長



会長の時間をいただきます。

先週はいろいろなイベントがございました。

まず 23 日土曜日には、日立市体育協会の財団設立 20 周年式典がありまして、なんと当 RC の信太会員が 20 年以上功労ということで表彰されました。おめでとうございます。この式典には、小澤幹事にも出席いただきました。

24 日には米山奨学生のリ・シエイさんの終了式がありました。カウンセラーである石川会員にご出席いただきました。

烏帽子会も同じく 24 日に開催されておりまして、9 名参加し、優勝は大森昌弘会員で、準優勝が石川会員でした。おめでとうございます。

今年も、親睦と奉仕ということでやらせていただきます。烏帽子会は親睦活動の一環として進めていきたいのでよろしくをお願いします。

日立市市民文化課の知り合いのほうからご紹介下さいということでチラシを配布させていただきました。私たちシネマ制作サポートプロジェクトが 4 年程前から立ち上がっています。今回、日立をロケ地にした映画「桜並木の満開の下に」が完成しました。作品完成記念上映会がありますので、皆さんお誘い合わせの上、ぜひお出

かけ下さい。

国際奉仕のプロジェクトになりますけれども、ハワイ交換留学生につきましては、こちらから送り込む留学生が決まりました。3 月 11 日から 4 月 7 日の予定ですが、詳細決まり次第ご連絡いたします。

以上、会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。



幹事報告

小澤 興幹事



- ロータリー囲碁同好会、4 月 12 日に韓国で大会が行われます。腕に自身のある方はご参加下さい。
- ガバナー事務所からの連絡で、詐欺メールが出回っているとのこと。RI は、メールにて個人情報や金銭を要求するようなことはありません。ご注意ください。



出席報告

星 勝治 委員長

会員数	出席	欠席	出席率	MakeUp	修正	免除
35 名	20 名	15 名	62.5%	14 名	100%	6 名



ニコニコ BOX

白石満義委員長

- ◇ 社会奉仕卓話、NPO 法人日立ふきのとうの会 深谷理事長、宜しくお願いいたします。
高島会長・小澤幹事・小山高一・川村昌弘・山本忠安・鹿志村高道・石川國博・宮本尚彦・白石満義・須田 晃・鈴木幸一・川崎健輔・石川 悟・山縣敏史・大森昌弘・木本貴一・池澤 健・星 勝治
- ◇ 体育協会 20 周年式典で表彰されました。
信太克己
- ◇ 前回欠席しました。
大森孝之



本日も多くの方からニコニコ BOX へのご協力 誠にありがとうございました



本日計 29,000 円	累計額 937,121 円
--------------	---------------



プログラム

卓話

社会奉仕委員会

鹿志村委員長



- 前回は日立特別支援学校の教頭先生に卓話いただいております。今年度は3回も卓話がございます、これ幸いということで、今回はずっと支援しております、NPO 法人日立ふきのとうの会の深谷理事長に卓話をお願いしましたところ、快くお引受けいただきました。
- 現在の様子などをお話いただき、日立ふきのとうの会を認識していただきたいなと思います。
- 例会終了後、日立ふきのとうの会で作っておられます唐辛子の販売をいたします。1袋 500 円です。よろしくをお願いいたします。



- 今日はお招きいただきまして、ありがとうございます。
- いつもご支援をいただいている皆様に、私どもの作業所の内情についてお話をさせていただきます。
- NPO 発足しましてから、お陰様で7年目を迎えました。一昨年の地震以降、建物を建て替える為、市から立ち退き命令がありました。日立南 RC の木本様はじめ、沢山の方にご支援をいただき短期間で見事な新作業所が完成しました。一年過ぎましたが、使い勝手のいい施設です。発足7年であれだけの建物を財産として持てるのは、あまり例がないことだと思います。皆様のご支援、心から感謝しております。
- 精神疾患の方は増え続けています。私たちは一人でも多くの方をいい状態に戻していきたいと願いながら仕事をしています。
- 私たちの作業所では精神疾患の方にどのように対しているか、実例をもってお話したいと思います。
- 人格障害の20代半ばの男性。作業所に来てから2ヶ月、一言も話しをしませんでした。自分の嫌なことは一切やりません。それが今は、作業所に入る前と帰る時に挨拶をするようになり、特定の人と話しをし、仕事もある程度出来るようになりました。私たちの対応は、
 - (1) 彼の抱えている病気を知る
 - (2) 温かい目で観察し、細かい変化を見逃さない
 - (3) 作業所に通っているメンバーの協力を仰ぐです。
 彼の持っている壁を外から壊すのではなく、中から彼が自分で壊そうとしなければ無理です。
- 作業所は、就職の訓練の場所なのですが、大事なのは居場所を作ってあげること、生活をする力をつけることだと思っています。メンバーの家族にとっても、作業所は大事な居場所のひとつです。メンバーに寄り添って、今後もスタッフ一同、見守っていきたくと思っています。ありがとうございました。

会長の点鐘をもって終了。